

令和6年第1回幸手市議会定例会 市政に対する一般質問通告書（通告順）

発言 順位	議席 番号	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	4	芦 葉 弘 志	1 ヤングケアラー支援について	<p>厚生労働省は昨年7月10日、家族の介護をする若者「ヤングケアラー」への支援強化を盛り込んだ介護保険事業の新たな基本指針案を公表した。指針案では、団塊の世代が全員75歳以上となる2025年を見据え、制度の持続可能性を維持するため、「家庭における介護の負担軽減の取り組みを進めることが重要」と明記している。また、児童福祉などの分野と連携し、各市町村の地域包括支援センターで相談を受けるといった体制強化を目指すとしている。さらに、厚生労働省などが2021年に公表した調査結果では、中学2年生の5.7%、高校2年生（全日制）の4.1%が、世話をする家族が「いる」と回答している。</p> <p>(1) こども家庭庁のホームページでは{「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。}とある。幸手市では、ここでいうヤングケアラーの実態調査は過去にいつ頃行われて、その調査方法および調査内容について伺う。</p> <p>(2) 市内のヤングケアラーの把握している人数について伺う。</p> <p>(3) ヤングケアラー支援として市が取り組んでいる政策について伺う。</p> <p>(4) 入間市のようなヤングケアラー支援条例の制定について幸手市の考えを伺う。</p>

			<p>2 幸手市における防災活動について</p>	<p>(5) 国のヤングケアラー支援事業について、地方自治体におけるヤングケアラーの支援体制の構築を支援するため、次の4点について補助金があるが、それらについて幸手市の考えを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none">・地方自治体に関係機関と民間支援団体等とのパイプ役となる「ヤングケアラー・コーディネーター」を配置し、ヤングケアラーを適切な福祉サービスや就労支援サービス等につなぐ機能を強化（コーディネーターの研修も含む）。・ピアサポート等の悩み相談を行う支援者団体への支援。・ヤングケアラー同士が悩みや経験を共有し合うオンラインサロンの設置運営・支援等に財政支援を行う。・外国語対応が必要な家庭に対し、病院や行政手続における通訳派遣等を行う自治体への財政支援を行う。 <p>本年1月1日16時10分に石川県能登半島を中心とした、マグニチュード7.6、深さ16kmの地震が発生しました。水道、電気、ライフラインは大変な状況になっている。もし同じような地震が幸手市でも起きないとは限らない。</p> <p>(1) 近年、国内では自然災害が多発するようになり、防災アプリを導入する自治体が増えている。防災アプリには、災害情報や避難所の情報を提供するものがある。災害に役立つと言われる、防災アプリの導入について市の見解を市長に伺う。</p>
--	--	--	--------------------------	---

				<p>(2) 市のホームページには、「令和6年(2024年)1月18日、(一社)北葛北部医師会・幸手市医師会・幸手市歯科医師会・幸手市薬剤師会と、災害時の医療救護活動に関する協定の締結式を行いました。」とある。災害時は市内医師会等も被災している可能性があるが、締結内容には、幸手市医師会等から被災していない医師会等への救援連絡も盛り込まれているのか伺う。</p> <p>(3) 災害時のペット同行避難対策はどこまで進んでいるのか伺う。</p> <p>(4) 避難行動要支援者(要介護者、障がい者、難病患者)に対して個別の避難計画、避難準備が必要と考えるが、どの程度できているのか伺う。</p> <p>(5) 「国民保護に関する幸手市計画」27ページ 緊急物資の備蓄について「市は、生産・流通・保管事業者等と物資調達に関し協定を締結するなど、物資の確保に努める」とあるが、締結状況について伺う。(資料提供希望)</p> <p>(6) 女性の視点を生かした防災対策をめざし、幸手市防災会議の委員に女性の登用を増員してはいかがか。又、担当部局に女性職員も増員してはいかがか併せて伺う。</p> <p>(7) 杉戸町、宮代町のような、民間企業の無償専用サイトを活用しての、「避難場所・避難所の開設、混雑状況の提供」について市の考えを伺う。</p> <p>(8) 幸手市地域防災計画 第5編-5ページ冒頭に「第2節 応援要請 大規模地震等により被害が広範囲に及び、市による対応では困難な</p>
--	--	--	--	--

			<p>3 幸手市における空家対策について</p>	<p>場合は、あらかじめ応援・協力に関する協定を締結している他自治体や各団体に応援の要請を行う。」とあるがこの他自治体について具体的に締結しているのか伺う。</p> <p>空家が増えると、庭木や雑草が生い茂り、近隣住民の日当たりを悪くし、害虫が発生する原因になる。また、建物が傷み屋根瓦が落下、雨どいが外れる、竹や木の落下により、通行人にけがをさせる可能性がある。令和5年には国土交通省より「管理不全空家等及び特定空家等に対する措置に関する適切な実施を図るために必要な指針（ガイドライン）」が発表されている。</p> <p>(1) 市内の実際に住んでいない空家の件数を伺う。</p> <p>(2) そのうち、持ち主のない、または不明の空家は何件か伺う。(管財人が弁護士になっているものも含む)</p> <p>(3) (1) の空家のうち、管理ができていない空家は何件あるか伺う。</p> <p>(4) 空家対策について、幸手市が取り組んでいる事について伺う。</p> <p>(5) 幸手市空家バンクの過去の実績について伺う。(資料提供希望)</p> <p>(6) 久喜市や越谷市では空家等対策協議会を立ち上げて、学識経験者を交えて協議しているが、市長の考えを伺う。</p> <p>(7) 他の市では、業者と連携して対策をしているが幸手市ではそのような検討があるのか市長の考えを伺う。</p>
--	--	--	--------------------------	---

				<p>(8) 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく、特定空家等の判定は幸手市ではどのような判定基準で判定しているのか伺う。また現在何件くらい市内で判定されているのか伺う。</p> <p>(9) 昨年12月に改正された、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく、管理不全空家等の判定は幸手市ではどのような判定基準で判定しているのか伺う。また現在何件くらい市内で判定の対象なのか伺う。</p>
2	6	坂本達夫	<p>1 市役所本庁舎、今の問題について</p> <p>2 行政財産使用料（自動販売機設置）について</p> <p>3 浸水対策、排水路等の河道確保について</p>	<p>(1) 耐震上問題のある本庁舎は、使用禁止とすべきと考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 本庁舎と国家賠償法上の瑕疵ある営造物との関係をどう理解しているか、市長の考えを伺う。</p> <p>(1) これまでの検討内容と一般競争入札ではなく、従来と同様な方法になった市の考えを伺う。</p> <p>(2) 自動販売機設置事業者の選定方法をオープン化することは可能か、市の考えを伺う。</p> <p>(1) 中5丁目と下川崎の境界、ベルヒルズ周辺の道路冠水対策について、市の考えを伺う。</p> <p>(2) 東3丁目地内の浸水対策について、市の考えを伺う。</p> <p>(3) 中川崎地内を流れる中落としの河道確保について、市の考えを伺う。</p>

			4 市長公約の進捗状況について	<p>(1) 小中学校の再編、教育環境の充実について、市長に伺う。</p> <p>(2) 給食費無償化について、市長に伺う。</p> <p>(3) 移動スーパー「とくし丸」で買い物難民解消について、市長に伺う。</p> <p>(4) 18歳までの医療費完全無償化について、市長に伺う。</p> <p>(5) 循環バスルートの見直し、公共交通の利便性向上について、市長に伺う。</p>
3	7	小林英雄	1 指定管理者制度について	<p>(1) 指定管理者制度について、指定管理者の候補者を選定するまでの手続き及び検討委員会の委員の構成について伺う。</p> <p>(2) 現在の指定管理者の候補者選定がどのように行われたか、また、次期指定管理者の候補者選定に違いがあるのかについて伺う。</p> <p>(3) 現在の指定管理者の事業評価と次期指定管理者の候補者選定の際の評価の関係について伺う。</p> <p>(4) 「平須賀南公園外4公園」について、現在の指定管理者が選定された際の申し込み状況とこの指定管理者がどのように評価されたのかについて伺う。</p> <p>(5) 令和5年12月議会において「平須賀南公園外4公園」の指定管理者の指定にかかる議案のみが否決されたが、同時に議案となった他の施設の指定管理者の候補者の選定方法と違いがあったのか伺う。</p>

			2 市庁舎整備事業について	<p>(1) 本庁舎の築後年数、耐震診断が行われた時期、耐震診断の結果について市長に伺う。</p> <p>(2) 昨年12月議会において、本庁舎の使用継続が好ましくないことは認識している。市庁舎整備事業はスピード感をもって遂行していくとの答弁がありました。能登半島地震の甚大な被害状況を見て市長の市庁舎整備事業への考え方について伺う。</p>
4	3	宮澤大地	<p>1 幸手市内の空家問題について</p> <p>2 幸手市東中学校区の小中学校統廃合及び住宅事情について</p>	<p>「空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律」が昨年12月13日施行されました。この改正法は「所有者の責務強化」「空家等の活用拡大」「空家等の管理の確保」「特定空家等の除却等」に関する市町村の権限を拡大するものです。前回に引き続きまして空家への対応について、ご質問をさせていただきます。</p> <p>(1) 「空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律」の施行に対する現状の幸手市の計画を伺います。</p> <p>(2) 幸手市内の空家問題に関係する各課の取り扱い事項について伺います。</p> <p>(3) 空家バンク制度以外にも幸手市として生きた不動産をつくる取り組みは考えているか伺います。</p> <p>令和5年11月29日付けにて「学校再編の方向性について」の通知がなされました。東中学校と小学校3校（権現堂川小学校、吉田小学校、八代小学校）を統合し、現在東中学校のある場所に義務教育学校を開校し、さかえ小学校は上高野小学校に統合されます。しかし東中学校区については市街化調整区域が大半のため、住宅が増える見込みがありません。</p>

				<p>ん。西中学校区とは違い、一定の許可のもと住宅を建てられる都市計画法第34条第11号区域に指定されているエリアも非常に少ないのが現状です。住宅が増えなければ住民は増えません。こどもも増えません。現状のままだと義務教育校を開校して負担やコストをかけても、また同じことになるのでは。そのような危惧を持つ市民もいらっしゃいます。そこで幸手市中学校区の小中学校統廃合及び住宅事情について伺います。</p> <p>(1) 東中学校と小学校3校（権現堂川小学校、吉田小学校、八代小学校）を統合し、現在の東中学校に義務教育学校を開校することを決定した経緯を伺います。</p> <p>(2) 東中学校区の現状の都市計画について伺います。</p> <p>(3) 東中学校区の住宅開発について今後計画があるか伺います。</p>
5	1	高野優一	<p>1 防犯カメラ等の設置状況について</p> <p>2 公衆トイレの洋式化について</p>	<p>(1) 公共施設における車上荒らしや窃盗等の犯罪状況について伺う。</p> <p>(2) 市内公共施設の防犯カメラの設置状況を伺う。(資料提供求める)</p> <p>(3) 市内公共施設に防犯灯や防犯カメラを設置した場合のコストについて伺う。</p> <p>(4) 防犯灯や防犯カメラの設置により犯罪の抑止につながると考えるが市としての対策を伺う。</p> <p>(1) 令和5年度現在の市内公共施設のトイレの総数及び洋式化率について伺う。(資料求める)</p>

				<p>(2) 過去10年間のトイレの洋式化普及状況及びバリアフリー化について伺う。</p> <p>(3) 和式トイレの手すり設置現状について伺う。</p> <p>(4) 和式トイレから洋式トイレにする場合のコストについて伺う。</p> <p>(5) 和式トイレに手すりを設置した場合のコストについて伺う。</p> <p>(6) トイレの洋式化に向けての市の対応について伺う。</p>
6	10	松田雅代	1 市営釣場神扇池の観光資源としての価値、観光振興における役割、今後の活用について	<p>(1) 当施設の観光資源としての価値、地域の特性を活かした観光振興における役割を市長に伺う。</p> <p>(2) 市及び指定管理者が施設整備に投入した経年の支出状況を伺う。 (平成21年度～令和4年度、支出項目・内容・金額を一覧資料として提供をお願いします)</p> <p>(3) 来年度からの指定管理の契約更新に当たり、プロポーザル入札不調、再入札となる事態となった。民間撤退の要因は何か。ヘラブナ釣り愛好家の減少、コロナ禍の影響、人件費・ヘラブナ仕入れ単価・餌代の上昇が、経営収益を圧迫するという一般的要因のほかに、当施設個別の事情として、魚が釣れないことが集客減の大きなインパクトとも聞く。現状の認識・分析を伺う。</p> <p>(4) 収支を悪化させる要因、集客減の要因はどのようにモニタリングされ、対応されてきたか伺う。</p>

			<p>2 市庁舎整備基本構想策定に向けた市民ワークショップ、説明会の開催について</p> <p>3 特別支援教育の充実について</p>	<p>(5) 本施設は公設民営として、幸手市民に余暇の楽しみを提供するほか、交流人口の呼び込みや歳入を稼ぐ貴重な収入源であった。以前のように納入金を徴することのできる観光資源に復活させるには何が必要か。3年後に民間に振り向かれる施設とする。その意欲を市長に伺う。</p> <p>(6) 施設の良い環境維持の考え、投資・修繕など今後の具体的な取組計画を伺う。</p> <p>(1) 第1回市民ワークショップ（2月18日開催）の申込人数・構成バランス、開催状況を伺う。</p> <p>(2) 第2回市民ワークショップ（3月30日開催）の参加申込状況を伺う。</p> <p>(3) 庁舎整備は100年の計である。市民に愛される庁舎整備を進めるには、市民の庁舎整備に関する関心を高めることが肝要と考える。市民ワークショップの様子を素案完成までに市民に報告・情報発信することは可能か。市ホームページや広報紙での掲載・情報発信計画を伺う。</p> <p>(4) また、市民が庁舎整備を理解する手段として、タウンミーティング方式で地域に出向いて基本構想（素案）を説明する機会是有用と考える。意見はパブリックコメントでの募集とするが、パブリックコメントでの意見募集の前に、その機会を検討してはどうか。</p> <p>(1) 現在の市内各小中学校特別支援学級の学級数、通級児童・生徒数、特別支援学校通学者数を伺う。（一覧資料の提供願います）</p>
--	--	--	---	---

				<p>(2) 幼稚園や保育園との連携体制、課題を伺う。</p> <p>(3) 小学校と中学校との連携体制、課題を伺う。</p> <p>(4) 市学校教育課「就学相談（小学校入学に関する相談）」の相談状況を伺う。</p> <p>(5) 小学校と放課後デイサービスとの連携体制、課題を伺う。</p> <p>(6) 各種機関との連携強化の取組と課題を伺う。</p>
7	5	四本奈緒美	1 1か月児、5歳児の乳幼児健診について	<p>昨年12月、「こども未来戦略」が閣議決定され、今後3年間で集中的に実施する「加速化プラン」が示された。「加速化プラン」において実施される具体的な施策の1つに、「1か月児および5歳児健康診査支援事業」がある。</p> <p>(1) 幸手市における乳幼児健診の現在の実施状況を伺う。</p> <p>(2) 1か月児健診の実施の意義について伺う。</p> <p>(3) 「加速化プラン」における1か月児健診の幸手市の実施について伺う。</p> <p>(4) 5歳児健診の実施の意義について伺う。</p> <p>(5) 「加速化プラン」における5歳児健診の幸手市の実施について伺う。</p>

			<p>2 児童生徒等のプライバシーや心情に配慮した健康診断実施のための環境整備について</p>	<p>学校においては、児童生徒等が学校生活を送るにあたり、支障があるかどうかについて健康状態を把握するために、毎学年、学校保健安全法第13条に基づき、健康診断を実施している。実施に当っては、服装などに特に定めは無く、地域や学校によって運用が異なっている。近年、児童生徒等や保護者から上半身裸での受診を不安に思う声が上がっており、昨年5月に公明党女性委員会は政府に対し、プライバシーに配慮した安心して受けられる学校健診の実現を提唱・要望をしていた。本年1月、文部科学省は学校の健康診断について、正確な検査・診察を実施するとともに、児童生徒等のプライバシーや心情に配慮して実施するよう、健康診断実施の環境整備に関する具体的な考え方を示した通知を発出した。</p> <p>(1) 正確な検査・診察を実施するとともに、児童生徒等のプライバシーや心情に配慮することが重要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>(2) 検査・診察時の服装は、正確な検査・診察に支障の無い範囲で、原則、体操服や下着等の着衣、タオル等により身体を覆う事が望ましいと考えるが、現状と見解を伺う。</p> <p>(3) 検査・診察の場面では、正確な検査・診察のため、必要に応じて学校医の先生が体操服・下着やタオルをめくって視触診したり、体操服・下着やタオル等の下から聴診器を入れたりする場面がある事について、児童生徒等や保護者に対して事前に学校から説明をして理解をしてもらう事が安心に繋がる事であり、必要な事であると考えますが、現状と見解を伺う。</p> <p>(4) 健康診断の実施主体である学校は、児童生徒等のプライバシーや心情に配慮した対応について、具体的な内容を学校医の先生と相談</p>
--	--	--	---	--

			<p>3 子どもを被害者にも加害者にもさせないAIペアレンタルコントロールアプリの活用について</p>	<p>し共通認識を図った上で健康診断を実施することが重要と考えるが、現状と見解を伺う。</p> <p>(5) 間もなく4月より新年度が始まる。令和6年度の学校健診が実施されるが、今回の文科省からの通知を踏まえて、児童生徒等のプライバシーや心情に配慮した健康診断実施のための環境整備を、具体的にどのようにしていくのかを伺う。</p> <p>子どもにとっても身近なスマートフォン。近年、SNSを通じて子どもたちに裸や下着姿などを「自撮り」させる性的な被害が増えている。また、学校配布の学習用タブレット端末による自撮りや盗撮による問題も全国的に見受けられる。子どもが被害者にも加害者にもなり得る性的な自撮りに関する事件を防止するために、愛知県警が中心となり産官学連携のもと、AI（人工知能）を利用して被害を防止するアプリが開発された。このアプリは子どもを守ると言う意味から「コドマモ」と名付けられている。</p> <p>(1) 幸手市の児童生徒のスマートフォンの所持状況を伺う。(小中学校別人数、割合)</p> <p>(2) 幸手市においても、子どもを被害から守るために愛知県警等が開発したアプリ「コドマモ」の周知・啓発を行ってはどうかと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3) 子どもを被害者にも加害者にもさせないために、実証事業の可能性も含めて、学校配布の学習用タブレット端末に「コドマモ」アプリをインストールしてはどうかと考えるが、見解を伺う。</p>
--	--	--	---	--

8	14	青木章	1 防災・災害対策について 2 内水対策について 3 健康増進事業について	(1) 避難所の状況について。(資料提出) (2) 備蓄品の状況について。(資料提出) (3) 給水対応について。 (4) 消防団の充足状況について。 (5) 能登半島地震の教訓について市長に伺います。 (1) 市長就任以来実施した施策とその効果について。 (2) 調整池の実施状況について。 (3) 今後の対応策について。 (1) 埼玉県コバトン健康マイレージの利用状況と今後について。 (2) 健康診断の実施状況、市民負担と補助金について。 (3) ワクチン接種の種類と補助金について。
9	15	大平泰二	1 介護保険制度	(1) 介護保険料の納入は、40歳から64歳までと65歳以上の高齢者が支払う保険料の2種類ある中、2024年度から65歳以上の高齢者のうち所得が高い人の負担額を増やす案が厚生労働省から出されたことについて幸手市の現状を伺います。また、所得の低い人は保険料を減らすとしていますが、従来との比較について報告願います。(資料提出)

			<p>2 医療・福祉制度について</p> <p>3 国保税について</p>	<p>(2) 現在「320万円以上」に設定している最も所得の高い区分を細分化して新たに「420万円以上」「520万円以上」「620万円以上」「720万円以上」の4段階を設け、年間所得が420万円以上の所得の高い高齢者については、これまでよりも高い介護保険料を負担と報道されています。区分ごとの人数及び保険料を伺います。</p> <p>(3) 介護保険利用料の2割負担の対象者拡大や、老人保健施設の相部屋の室料徴収など介護保険制度改悪の審議が社会保障審議会で行われています。2024年度は見送られたものの今後の対応が注目されます。幸手市としての見解を求めます。</p> <p>(1) 医療費軽減問題で短期保険証者に限度額適用認定書を発行しない法的根拠について伺う。</p> <p>(2) 後期高齢者医療被保険者証を発行の際、特定疾病認定書が同時発行されない問題について伺う。</p> <p>(3) 生活保護申請の受け付けの在り方について。幸手市内在住の女性が生活保護法第24条の申請要件を満たした内容で保護申請を行ったにもかかわらず「当市の書式でない」として受付を拒否されたとしていることについて伺う。</p> <p>(1) 国は「保険料水準統一加速化プラン」を設け、来年度から「保険者努力支援制度」による財政優遇を強化する方針と伝えられています。埼玉県「統一保険料率」の動向について伺います。</p> <p>(2) 国保の都道府県化 国保を市区町村と都道府県の共同運営の保険とし、財政の監督責任を都道府県に負わせるもの。市区町村が独自</p>
--	--	--	---------------------------------------	---

			<p>4 水道事業について</p>	<p>に行う国保料軽減のための公費繰り入れ（法定外繰り入れ）を削減・廃止させ、国保料・税の連続・大幅値上げを迫る仕掛けを設けています。県内の動向について伺います。</p> <p>(3) 税の引き下げについては国庫負担・公費の投入増が考えられるが市長の見解を伺う。また均等割を18歳まで免除することについて伺います。</p> <p>(1) 市水道施設の耐震化率の現状について。</p> <p>(2) 耐震化率算出の根拠について。</p> <p>(3) 場内配水管のスケルトン図は存在するか。有る場合その提出を求めます。</p> <p>(4) 石綿セメント管の現状（全長に対する交換長さ）と今後の布設替え計画。</p> <p>(5) 配水施設でダクタイル鋳鉄管を使用していない理由について。</p> <p>(6) 緊急遮断弁の取付位置とその台数について。</p> <p>(7) 過去の地震で緊急遮断弁が作動した例について。</p>
10	12	本田 謡子	1 ハッピーエール券について	<p>(1) 第4弾までの各発行総額、市民が利用された金額、そして発送したが戻ってきた金額、および使われなかった金額について伺う。 (一覧表の資料を要望します)</p>

			<p>2 高齢者の健康増進と補助金について</p> <p>3 災害時における幸手市としての支援について</p>	<p>(1) 高齢者の健康増進等の活動について、市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 幸手市が直接かかわる、高齢者の健康増進等の活動をしている団体に対する補助金について、それぞれの団体への補助金額と一人当たりの金額を伺う。(一覧表の資料を要望します)</p> <p>(1) 令和6年元日の能登半島地震における幸手市の対応を伺う。</p> <p>(2) 災害協定を結んでいる自治体等があったのかどうか、また、あった場合はその対応を伺う。</p> <p>(3) 自治体の災害支援について市長の考えを伺う。</p>
1 1	1 1	小河原 浩和	1 惣新田幸手線バイパスの進捗状況を伺う	<p>(1) 惣新田幸手線バイパスの早期開通は地元住民のみならず、幸手市の将来の発展を大きく担う大切な主要路線と考える。開通に向けての進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 開通の目標年月、道路の概要、地権者との交渉状況や説明会の内容などを伺う。</p> <p>(3) 開通後の沿道開発の概要や問題点について伺う。</p> <p>(4) 市長公約の地域農業の発展とは、具体的にどのようなことか市長に伺う。</p> <p>(5) 国道4号線バイパスから主要地方道松伏 春日部 関宿線までの、東方面への延伸を望む声があるが市の対応を伺う。</p>

			<p>2 吉田幼稚園跡地利用の進捗状況を伺う</p> <p>3 幸手市立小・中学校適正規模・適正配置等を伺う</p>	<p>(1) 吉田幼稚園跡地利用方針の内容を伺う。</p> <p>(2) 利用方針に従い、問い合わせや応募してきた事業者は何社あったのか伺う。</p> <p>(3) 優先交渉権者を選定した理由を伺う。</p> <p>(4) 市民説明会が開かれたが、どのような事業説明をしたか伺う。</p> <p>(5) 参加者の中からどのような意見が出たか伺う。</p> <p>(6) 吉田幼稚園跡地は地元市民にとって大切な施設であり、現在もグランドゴルフの皆さんが毎週園庭を利用している。今後その事業者と契約した以降も市民が利用出来るのか伺う。</p> <p>(7) そのほか、地域住民が施設を利用できる環境(地域の人たちとの交流事業など)があるのか伺う。</p> <p>(8) 事業者との契約内容・条件はどのようになると考えているか伺う。</p> <p>(9) 契約を成立させるために、市からの財政支出はあるのか伺う。</p> <p>(1) この度、「幸手市立小・中学校適正規模・適正配置等に関する基本方針」が示され説明会が開催された。基本方針の内容を伺う。</p> <p>(2) 基本方針が策定されるまでの経緯を伺う。</p> <p>(3) 基本方針に従い、今後どのようなことが行われていくのか伺う。</p>
--	--	--	--	---

				(4) P T Aや地元住民との合意形成にどのように向き合っていくのか伺う。
1 2	2	小 泉 圭 司	1 小学校の統廃合について	<p>(1) 広報誌と一緒に配布された学校の再編に関する説明会の案内は、学校の再編が決定事項のように書かれているが、これは一方的に決めた考えを住民に説明するだけの会という目的なのか市長に考えを伺う。</p> <p>(2) 今回の説明会や、アンケートなどで用いられた“再編”という言葉は、統廃合の義務教育学校のみのか、小中一貫校や小規模特認校といった運営の見直しといった意味合いも含めるものなのか考えを伺う。</p> <p>(3) 令和5年第10回幸手市教育審議会において適正規模についての討論の中で“小中一貫校では問題が解決しないので義務教育学校に絞る”との方向性について「問題が解決しない」とされた根拠を伺う。</p> <p>(4) 幸手市教育審議会において行われた学校の適正規模、適正配置の議論では、地域コミュニティの拠点としての在り方や、防災拠点としての学校の在り方には触れずに議論するという前提の元、協議がなされ答申が挙げられています。今回の再編の方向性はそれらを考慮したものか伺う。</p> <p>(5) 以前、消滅可能性都市として取り上げられ、その解消には子育て世帯の方の転入を促さなければならない中、学校を削減するという方向性は逆行するのではないかと市長の考えを伺う。</p>

			<p>2 リーディングDX事業について</p> <p>3 誰もが安心して学べる環境について</p>	<p>(6) 幸手団地の6街区が取り壊され、計画では住宅が作られる方向性であったが、近くのさかえ小学校が無くなれば住宅地として開発がされなくなって進まなくなるのではないかと市長の考えを伺う。</p> <p>(7) 学校だけでなく公民館や老人福祉センターなどとのアセットマネジメントを考慮した広い視野での考えはないのか伺う。</p> <p>(1) 先日さかえ小学校で行われたICTサロンのように子供たちが課題を地域の方に紹介するといった取り組みを今後も続けてゆくのか伺う。</p> <p>(2) 幸手市全体に普及させるにはどのくらいの期間が必要か考えを伺う。</p> <p>(1) 全国と埼玉県、幸手市の不登校児の令和元年度からの年間推移について伺う。(資料をお願い致します)</p> <p>(2) 幸手市におけるオンライン授業の状況について伺う。</p> <p>(3) 心すこやか教室の利用状況について伺う。</p> <p>(4) 心すこやか教室の出席扱いについて伺う。</p> <p>(5) 出席扱いとなるフリースクールを利用した場合の市の支援はあるか伺う。</p> <p>(6) 通学区域の弾力化について伺う。</p>
--	--	--	---	---

13	9	木村治夫	<p>1 子ども支援の充実について</p> <p>2 防災体制の推進について</p> <p>3 防犯体制の強化について</p> <p>4 地域農業振興と大規模プロジェクトについて</p> <p>5 水道事業整備について</p>	<p>(1) すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産子育てができる環境づくりの取り組みについて伺います。</p> <p>(2) こども家庭センター設置内容と具体的政策について伺います。</p> <p>(1) 災害時の応急体制整備について伺います。</p> <p>(2) 消防団・自主防災組織整備強化について伺います。</p> <p>(3) 災害時、緊急対応とし、市内井戸所有者の把握状況について伺います。</p> <p>(1) 犯罪抑止につながる住環境の整備について伺います。</p> <p>(2) 自主防犯団体の整備強化対策について伺います。</p> <p>(1) 千塚地区農用地編入の進捗状況について伺います。</p> <p>(2) ゆめファーム全農誘致整備の進捗状況について伺います。</p> <p>(3) 上高野地区土地改良事業の進捗状況について伺います。</p> <p>(4) 産業団地拡張の整備進捗状況について伺います。</p> <p>(1) 石綿セメント管の更新整備状況について伺います。</p> <p>(2) 水道施設の耐震対策整備状況について伺います。</p>
----	---	------	---	---

				(3) 災害用水道資材等の備蓄、また災害時安定した水の供給体制対策について伺います。
--	--	--	--	--